



国体決勝戦の球審も担当 本市初のソフトボール終身審判員

但馬ソフトボール協会 理事長 かわべ よしゆき
河辺良之さん(75歳)日高町上郷



公益財団法人日本ソフトボール協会から本市では初となる終身審判員証を授与されたのが河辺良之さんです。
昭和50年代、豊岡ではソフトボールが盛んで、河辺さんも地域のチームに所属。チームの一員としてプレーしていたところ、但馬の協会から声掛けがあり、審判員を始めました。それ以来、約40年間、地域の大会から日本女子1部リーグなどの全国大会まで、さまざまな試合を審判。「プレーをいかに正確に判定するか。ミスジャッジが選手の1年間

の苦勞をつぶすことがある」と真剣なまなざしで語ります。平成18年、兵庫県が主会場となった国民体育大会では、成年女子決勝戦の球審を担当。審判員全員が感動で涙した」と当時を懐かしみます。
10月13・14日に、全但バス但馬ドームで開催される日本女子1部リーグ豊岡大会の実行委員会事務局長も務める河辺さん。「2年後の東京オリンピックの代表候補選手も参加する世界レベルの試合を楽しんで」と微笑みます。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲ライブハウスに様変わりした出石永楽館

ジンリキソニック2018

但馬内外のロックバンドが永楽館に集結

9月9日、出石永楽館で但馬最大級のロックフェスティバル「ジンリキソニック2018」(主催・同実行委員会)が開催され、近畿最古の芝居小屋に、いつもとは一味違う歌声や音楽が響きました。出演したのは、高校生バンドバトルの勝者やオーディションを勝ち抜いたバンド、但馬や近畿、東京で活躍するアーティストなど全18組でした。会場には、ふらっと立ち寄ったという方や、バンドに興味がある方、出演する家族のパフォーマンスを見に来た方などが集まりました。大阪から来た女性は、バンドが好きな上、夫が出石出身という縁で来場。「フェスは今まで知らなかったバンドと出会えるから楽しい」と笑顔で語りました。

但東歯科診療所玄関の飾り付け 但東庁舎に和みの空間誕生

8月28日、ボランティアグループ「そよ風」の皆さんが、但東歯科診療所(但東庁舎内)の玄関を木や花で飾り付けました。
これは、9月1日に迫った同診療所の開院記念式典に合わせたもので、施設整備に伴ってできた空き地を花壇(縦0.8m×横4m)やプランター置き場に活用。植物や腐葉土などの資材は同グループが用意し、花壇にはアジサイやガジュマルが、七つのプランターにはユーフォルビアやカラコエなどが次々と植えられていきました。
同グループ代表の橋本道江さん(但東町畑山)は「診療所に来る方の目を和ますことができれば」と一株ずつ丁寧に水をやっていました。



▲バランスを相談しながら花壇を飾り付け